

進路通信

津山東中学校
3年団
2024年12月4日

期末テストも終わり、今年も残すところ一ヶ月足らずとなりました。二学期の三者懇談では、いよいよ本格的な話ができることと思います。自分の将来に関わる大切な選択ですから、家族の人ともよく話し合いをして、適切な進路決定をしましょう。

1. 三者懇談について

(1) 日時

12月20日(金) 8:30~12:00、13:00~16:45

23日(月) 8:30~12:00、13:00~16:45

※詳しい日時については、担任より配付しています。ご確認ください。

(2) 決定事項

- ① 県外高校受験の希望と受験校・科の確認
- ② 私立高校の1期入試受験手続と受験校・科の確認
- ③ 津山高専の推薦受験手続の確認
- ④ 県立高校の特別入試受験希望と受験校・科の確認
- ⑤ 専門学校などの受験の希望と受験校の確認
- ⑥ 就職の希望の有無

三者懇談の時間は限られています。事前に相談が必要な場合は、中学校の方へご連絡ください。

(3) 注意・確認事項

① 県外の高校(公立)を受験しようと思っている人へ

県外受験の場合は、必ずこの三者懇談で決定してください。

調査書の形式や、提出書類に違いがあることが多いので、担任も準備に手間取ることが考えられます。また、出願日の早い学校(12月下旬から)もありますので、必ず、この三者懇談で決定してください。

※県外の公立高校を受験する場合には、「特別出願」等の手続きも必要となります。

② 私立高校の1期入試を受験しようと思っている人へ

専願か、併願かをはっきりさせてください。

専願(その高校を第1志望とし、合格したときは必ず入学する。)の場合、高校によっては合格判定の時に有利になることもあります。そのため専願で受験し合格した場合、他校に出願・受験しないことを確認します。また、高校によっては1期のみで特別奨学生制度を設けているところもあります。各校の募集要項で確認してください。

<出願までの動き>

11月13日(水)	美作高校の「出願エントリーシート」を説明・配付しています。(別紙参照)
12月5日(木)	この日までに「申込内容確認書」を印刷し、保護者による内容確認を終えて、担任まで提出してください。 チェックされて帰ってきたら、受験料を支払い受験票を印刷し、家庭で当日まで保管をしてください。
12月18日(水)	受験料支払い校内メ切。
12月20日(金) 23日(月)	三者懇談では手続きができているか最終確認をします。

③ 津山高専の推薦入試を受験しようと思っている人へ

出願をするには出願基準があります。

<出願資格> 要件が4つあるうち、成績に関するものは

- (A) 3年生2学期の成績が5段階評定の総計(9教科)36点以上
- (B) 3年生2学期の成績が5段階評定の総計34点以上で、数学と理科の合計が9点以上
- (C) 3年生2学期の成績が5段階評定の総計32点以上で、アドミッション・ポリシーに沿った活動実績を有する

<出願までの動き>

11月22日(金)	受験希望者に高専受験の今後の流れを説明しました。(別紙参照)
11月26日(火)	この日までに高専推薦入試の受験希望者は、「エントリーシート」を担当の先生に提出しチェックを受けます。
12月6日(金)	この日までに面接調査票を提出してください。
12月10日(火)	放課後、2学期の成績が出願資格要件を満たしているかを、担任の先生からきいてください。資格要件が満たされた人は、Webエントリーを行って、「申込内容確認書」を印刷してください。面接調査票の清書用紙をもらってください。
12月13日(金)	「申込内容確認書」提出メ切。チェックを受け返却されたら、検定料を支払い出願関係書類「写真票」「宛名票」をカラー印刷する。
12月20日(金) 23日(月)	三者懇談までに、出願関係書類(「写真票」「宛名票」「面接調査票」)を提出してください。



④ 県立高校の特別入試を受検しようと思っている人へ

しっかりと志願の動機・理由を持っておくことが大切です。

「受検の機会が2回ある方が有利だから」といったような気持ちだけでは困ります。特別入試は過去には厳しい倍率となった学校・科もあります。昨年度から専門学科や総合学科の募集人員比率上限の変更がありました。確固たる意志を持っていないと、その結果でその後の進路まで影響する人もいますから、よく考えて希望してください。また、合格者として内定した場合は、必ず入学することが出願の条件になっていることに十分注意してください。

<今後の動き>

12月20日(金)	受検校・科をほぼ決定してください。
23日(月)	※最終決定は1月上旬とする予定ですが、極力2学期末の三者懇談で決定してください。 ※年間を通して欠席日数が多い人には、制度上、自己申告書を提出できますので、必要な人は三者懇談で清書用紙をもらってください。

⑤ 専門学校などを受験しようと思っている人へ

必ず、ここで決定をしてください。

専門学校などは出願が12月からというところもありますから、必ずここで決定してください。
※専門学校の願書は、各ご家庭で2部お取り寄せください。

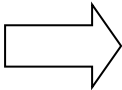
⑥ 就職を希望する人へ

中学生の就職は、本人・保護者・担任・ハローワークの担当官による懇談が行われ、それによって職業斡旋や職場開拓が行われます。しかし、現実には中卒での就職は非常に困難です。多くは保護者等の縁故就職が一般的になってきています。

いずれにしても、就職は「ハローワーク」を通すことになっています。「縁故就職」であっても必ず「ハローワーク」を通さなければなりません。したがって正式な文書の準備が必要です。

(4) 三者懇談でおおむね決定しておきたいこと

- ①県立高校の一般入試の希望と受検校・科
- ②津山高専の学力入試の希望と学科
- ③私立高校2期入試の希望と受検校・科
- ④高等技術専門校の希望



2学期末の三者懇談で決定しなかった事項については、
1月10日(金)までに決定して下さい。

① 県立高校の一般入試について

志望校・志望学科(第2、第3志望を含めて)を決めておく。

一般入試の願書に第3志望の欄が追加されています。高校によっては、志望学科は第3志望まで選択できますが、第2、第3志望で合格ということも考えて出願してください。(希望がない場合は、第2、第3志望は「志望なし」を選択する。)岡山県立高等学校へ入学を希望する皆さんへのP5・6・16・18・19を参照してください。

② 津山高専の学力入試について

受験意志の有無を決めておく。

推薦入試で内定にならなかった場合、学力入試の出願は、募集要項のP7をよく見て出願準備をしてください。

最終的に「高専に入学するのか、県立高校に入学するのか」を決めておく。

高専学力試験と県立高校一般入試の併願ができますが、両方とも合格した場合、どちらに入学するかをあらかじめ、決めておかなければなりません。高専へ入学する場合は「入学確約書」を、入学を辞退する場合は「入学辞退書」を、県立高校の合格発表の日の午後5時までに、中学校を通して高専に提出しなければなりません。

※高専推薦合格者は3月2日(日)の高専入学手続に、必ず出席しなければなりません。

※高専学力入試合格者の入学手続は、第1回3月2日(日)、第2回3月20日(木)です。

高専への入学を決定した場合は、できる限り第1回入学手続に参加してください。

③ 私立高校の2期入試について

2期入試の方が試験の難易度は上がります。また、特別奨学生制度も1期入試に限られる場合が多いので、私立高校を希望する人は、1期で受験した方がいいでしょう。

④ 高等技術専門校の入試について

中学校卒業予定者での募集は、北部高等技術専門校(北部校)では木工・デザイン科のみです。出願と入試日が離れているので注意してください。また、県立高校との併願も可能です。

(5) その他 三者懇談で確認する内容

特別出願に関する調査

学区外から学区のある普通科を受検するときに、必要な書類があります。(全員ではありません)該当する人には、担任が詳しく連絡をします。

2. お願い

○県教委からのパンフレットやインターネット出願マニュアル、各校の募集要項やHP等をよく見て、手続き等に間違いがないようにしてください。

○入試関係書類は提出締め切り日までの提出にご協力をお願いいたします。また、中学校提出後は、間違いの訂正以外の変更はできません。

